2016年3月15日（火曜日）のパンニュースに ゴチパン店・スマイル店について紹介されました

コトブキのジャム
寿食品工業㈱
東京都荒川区西尾久7-44 2
電 話（03）3894-4501

編集・発行人
磯 谷 至 朗
購読料 1年19,800円
半年 9,900円
（消費税含む）
郵便振替口座
00100-9-30857

【毎月5，15，25日発行】昭和25年9月5日第3種郵便物認可

パンニュース

第2721号 2016年（平成28年）3月15日（火曜日）

PAN NEWS CO., LTD.
㈱パンニュース社
〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-9-9 第一瀬野ビル4F
電 話 03-3862-6041㈹
FAX 03-3864-0087
http://www.pannews.co.jp/
［関西支社］
〒658-0052 兵庫県神戸市東灘区住吉東町2-6-29
電 話 078-842-2860
FAX 078-842-2861

食型・天板
「選択の時代」に応える――
川口板金
住所 川口市江戸袋2-6-14
電話 048-282-0871

パン・アキモト

世界を視野に――ベトナム・ダナンに出店

2月から第一期研修生として来日

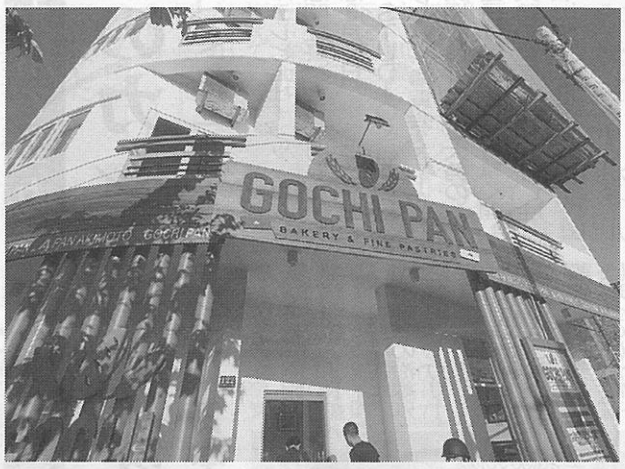
人口減少の続く日本。海外進出する材料メーカー、大手パンメーカー、リテイルベーカリーが増える中で、パン・アキモト（栃木・那須塩原市、秋元義彦社長）は昨年8月下旬、ベトナム・ダナン市のダウンタウン近くに、日本式のベーカリーとして「ゴチパン」をオープンした。ここで半年間訓練したベトナム人3人が、2月に来日し、同社で3年間の研修に入った。

パン・アキモトの社名は、「パン」と「PAN（全体）」の意味をかけたもの。積極的にグローバルな考えでパンを展開するのは、同社の社是といえる。

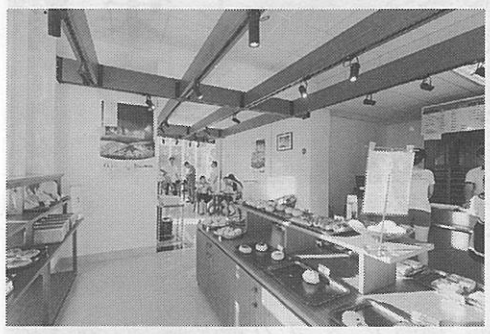
同社は、那須塩原に本社・工場、石窯パン工房きらむぎ、黒磯にSMILEBAKERYピーターパンを擁し、東京、大阪に営業所、米国ロサンゼルスに事務所を持つ。パンの缶詰を生産するのは、本社工場と沖縄工場。

主な海外戦略としてアメリカでパンの缶詰の普及、ベトナムでベーカリーショップ&研修システムを軌道に乗せようとしている。長男の信彦氏が営業、次男の輝彦氏が製造を担当。

秋元社長の父で創業者の秋元健二氏は戦後、贖罪の気持を込めてアジアの食文化に貢献したいとの思いを持ち続けていた。2代目の秋元社長は、その遺志を受け継いだ形で、昨年1月にベトナムのダナンに合弁会社を設立。「私の恩師に当たる人が、ダナンに住んでいたことから、何度か訪れて親日的でいい国だなと感じた。それがきっかけでパンを通じて何かできたらと思うようになった」。



ベトナム・ダナンの「GOCHI PAN（ゴチパン）」


すっきりとした売場、奥がイートイン

ダナンは人口約100万人のリゾート地。第1号店「ゴチパン」は、日本語の「ご馳走様」から命名。

約50坪の店舗スペースで、売り場、工場、イートインを併設。

特に苦心したのは、良い材料を入手することで、現地の問屋を巡ってオーストラリアから輸入の小麦粉など諸材料をそろえた。日本と同じメロンパン、カレーパン、コロッケパンなど30～40アイテムを品ぞろえ。

「現地ベトナムでの大学卒の初任給が日本円で2万円くらいの物価水準。ゴチパンのメロンパンが60円だからそれなりに高級な店だと思う」。

客層は日本人と現地のお客が半々。若いお客が多い。

スタッフは5人で、必ず1～2カ月交代で統括する日本人スタッフが本社から1人入る。

「現地で社員として採用する時に、将来パン屋として独立したいのか、店のスタッフとして残りたいのかを聞いているが、できればベトナムで独立開業してほしい。そのためにゴチパンで短期間訓練した後、日本で研修してベトナムに送り返す研修システムを考えた」。

この取り組みの背景には、日本のパン業界の抱える慢性的な人手不足がある。特に地方都市でその傾向が深刻化している。同社では人手不足解消を目指して国の外国人技能実習制度を活用していくという。

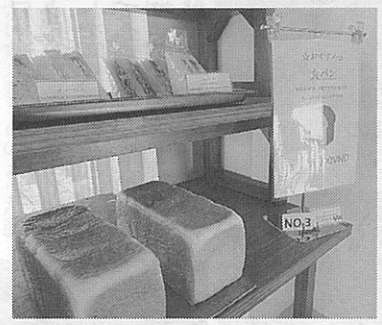
昨年3月にベトナム店の開店に向けて研修を行い、さらに今年2月には本格的にビザを取得した3人が研修に入った。

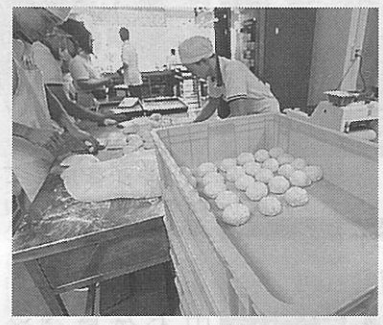
3人は那須塩原の石窯パン工房きらむぎ、または黒磯のSMILEBAKERYピーターパンで3年間働く予定。

同社で特徴的なことは、世界に非常食としてパンの缶詰を届ける活動「救缶鳥プロジェクト」や被災地支援活動を行っていることで、売り上げの一部を義援金として届けるほか、現地へ赴き、パンやその場で揚げたドーナツを提供している。

同社は昭和22年栃木県のJR黒磯駅前で秋元パン店を創業、40年会社組織として秋元ベーカリー設立。63年JR那須塩原駅近くに移転し本社・工場建設、平成7年パンの缶詰を開発、12年パン・アキモトに社名変更、17年パンの缶詰を生産する沖縄・うるま工場を稼働した。

21年ディスカバリー号に積まれパンの缶詰が宇宙へ、21年「救缶鳥プロジェクト」始動、22年黒磯駅近くにSMILEBAKERYピーターパン、26年国道4号線沿いの約2000坪の敷地に石窯パン工房きらむぎを出店。従業員60人、年商約6億円。


日本スタイルの食パンとサンドイッチ


日本人スタッフが統括する工場

天然バターに代る
完全なバター風香味料
BATALON
バタロン
横山香料株式会社
〒101-0047 東京都千代田区内神田2-8-7
TEL 03－3256－0003（代）

包装・食品・製パン製菓・物流機械、関連機器、包装資材、食品材料、環境関連機器など総合展
2016年 4月13日（水）▸16日（土）
2016中部パック

会場
ポートメッセなごや
主催
中部包装食品機械工業会
お問い合わせ http://www.chubupack.or.jp
E-mail:info@chubupack.or.jp
中部包装食品機械工業会 2016中部パック事務局
TEL 052-452-3161 中部パック 検索
無料入場券
●本券をご持参の方は1名様に限り無料入場できます。
●複数のご来場希望の方は本券のコピー可。

キラリ！輝くベーカリー

SMILEBAKERY
ピーターパン
栃木・黒磯

創業の地に昔のままで
変わらぬ人気「甘納豆パン」

平成22年春、JR黒磯駅から約400mの場所にパン・アキモトの直営店SMILEBAKERYピーターパンがオープンした。平成26年に国道4号線沿いに出店した大型店石窯パン工房きらむぎに比べると、町なかのこじんまりした店である。駐車4台収容。パン・アキモトの前身、秋元パン店は、昭和22年JR黒磯駅前に創業。同店とは目と鼻の先に創業の地がある。

2代目の秋元義彦社長は「黒磯にはなじみのお客様が大勢いる。創業地に店を構えたいとずっと考えていたので、夢を叶えることができた」と話す。しかも自宅が近く、立地条件は熟知している。住宅立地で、周辺に病院が5カ所、隣りは整形外科病院だ。当然のことながら年配客が多く、売れ行きは土、日曜がピークとなる。

角地の一部4階建てビルの1階で、間口が広く前面ガラス張り。赤に白地の「元祖甘納豆パン」ののぼり旗が目を引く。道路に面してイートイン（10席）の一部カウンター席がある。モーニングセット300円、アフタヌーンセット500円。イートイン席からは工場での製パン作業が見える。

売り場は、中央に平台、レジ横から3段棚、冷蔵ケースが続く。昔懐かしいパンを中心とした30～40アイテムの商品構成で、「甘納豆パン」（税別160円）、「コッペパン」（110円）、「ぶどうぱん」（150円）、「カステラサンド」（170円）、「ウエハース」（140円）、「揚げパン」（35円）など。店内で目立つのは、手作りのPOP。特に店長の河内あきこさん他4人のスタッフの似顔絵、出身地、私の好きなパンが書いてあるスタッフ紹介は、親近感を感じさせる。

全員が女性スタッフということもあり、きめ細かな心遣いのPOPが目立ち、例えば営業カレンダーは、営業休みが一目瞭然。営業時間も大きく店頭に貼り出してある。

立て看板の「焼きたてTime」には、7時に菓子パン、コッペパン、調理パン5アイテム（ベーコンエッグ、ウインナーパン、コロッケパン、焼きカレー、チーズパン）、8時にキャラパン、甘納豆パン、9時半にドーナツ、10時に食パン、10時半に調理パン、11時半にフランスパンが焼き上がることを詳しく知らせている。

積極的な情報発信を行っていて、「冷めてしまったパンは温めます」「おすすめセット3缶1290円　ちょっとした優しい心遣いに最適です。ぜひパンの缶詰をどうぞ」と掲示。そしてイートイン席にはさりげなくひざ掛けを置いている。

同店には、ベトナムからの実習生のモデル店としての側面がある。というのも少ない投資で出店したこの店は、ベトナムで同じように独立開業できることを念頭に置いているからだ。「店の2、3階が社宅で、今後実習生にはここに住んでもらう計画。福利厚生が整ったなかで、真面目に働けば、3年間で300万円程度は貯金できるのではないか。それを持ってベトナムに戻れば、ひとつの店を独立開業できる」。

河内店長は、ベトナムの店ゴチパンで、約2カ月間指導に当たった経験がある。「言葉が通じないので、やって見せてという形で製造の基本を覚えてもらった。後は日本流のおもてなし、お客様に買っていただくという気持ちを持つことを分かってもらうこと。日本での研修でもこの2つを身に付けてもらえれば」という。

ちなみに店名のSMILEBAKERYピーターパンは、パンでみんなが笑顔に、という意味合いで、ピーターパンはかつて約40年前に同社が移動販売車につけていた愛称で、地元でよく知られていることから付けたという。

▽栃木県那須塩原市弥生町5－1、☎028－62－0121、午前7時～午後6時、水曜休み

スマイル店のスタッフを掲示

元祖を謳う「甘納豆パン」

（右）河内あきこ店長と深澤遙さん

揚げパンは35円

創業の地近くのSMILEBAKERY ピーターパン

懐かしいパンの並ぶ売り場

パンの缶詰も販売